

2019年10月15日

草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントビンセント）
聖母マリア・ローマカトリック小学校校舎改修完成式

2019年10月15日、セントビンセント及びグレナディーン諸島キングスタウンの聖母マリア・ローマカトリック小学校にて、同校校舎改修完成式典が行われました。

本件では、同校に通う約600名の児童がより安全で快適な環境で、質の高い教育を受けることを目的として、本年2月に署名を行い、供与額32,047米ドルを利用し、同校の老朽化した校舎1棟を改修し、9月より改修済みの校舎で新学期を迎えることができました。

平山達夫大使は式典の中で、本件での校舎の改修により、現在同校に通う生徒や教員の教育環境の改善を実見できたことは喜ばしく、セントビンセントの将来を担う世代の育成に教育は重要な役割を果たし、今後もこの施設が適切に維持管理、有効活用され、多くの学生が恩恵を受けることが重要であると強調しました。

ユーラ・ジョニー同校校長は、本件を通して行われた教育環境の改善と同国民に向けられた厚情と支援に対して日本政府及び国民に対する感謝の意を表しました。また、本式典には、モンシニュー・マイケル・ステュワート大聖堂及び学校管理責任者、ピーター・オコンコ司教、その他、教育・国民和解・宗教・情報省の代表者、外務・貿易・商業省の代表者などが出席されました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントビンセント及びグレナディーン諸島に対する開発支援を実施していきたいと考えています。





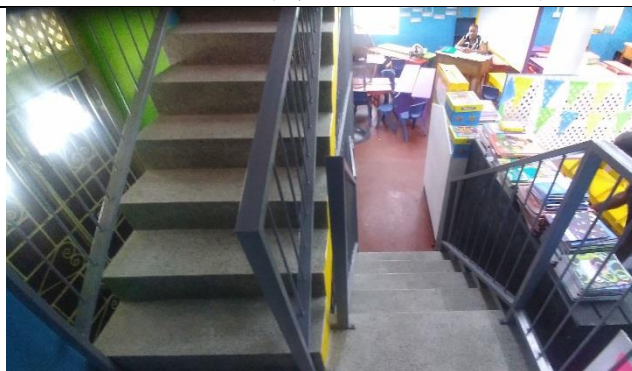
平山達夫大使によるスピーチの様子



ユーラ・ジョニー校長によるスピーチの様子



式典の様子



本件の一部として改修された階段



平山大使、ジョニー校長、アントワン書記官によるテープカットの様子



平山大使と同校児童たち

(了)

